



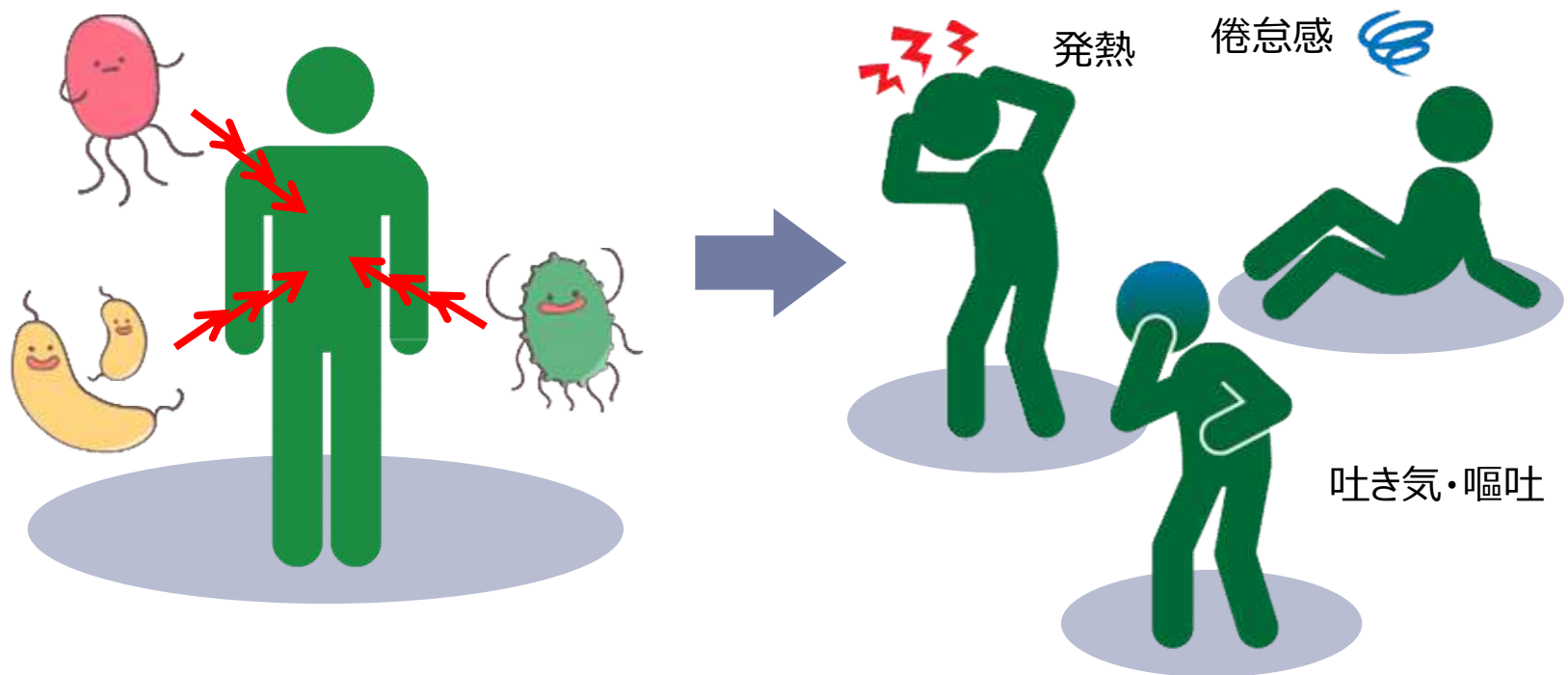
令和元年 感染症研修

感染症の基礎知識

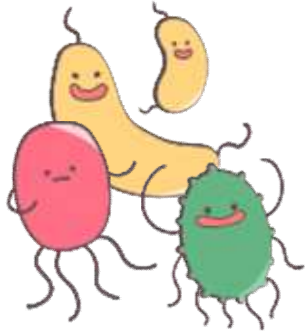
相模原市 保健所 疾病対策課
感染症対策班

感染症って なに？

細菌やウイルスなどの病原体が
体の中に入り込んで増えることで
さまざまな症状を引き起こす病気のこと



感染成立にはこれが必要！



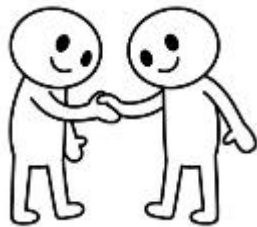
【感染源】

ウイルスや細菌をもつ人や物
例：患者や保菌者、食品など



【宿主】

ウイルスや細菌が増殖できる場所
例：抵抗力が弱い人など



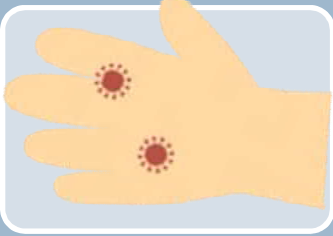
【感染経路】

ウイルスや細菌を体内に入れる方法
例：接触、飛まつ、経口など

3つ
そろって

感染成立！

感染経路の種類



接触・経口感染

病原体と接触すること

例：ノロウイルス・病原性大腸菌・流行性角結膜炎



飛まつ感染

咳やくしゃみによって病原体を含んだ唾液などが飛び散り、これを吸い込むこと

例：インフルエンザ・風しん

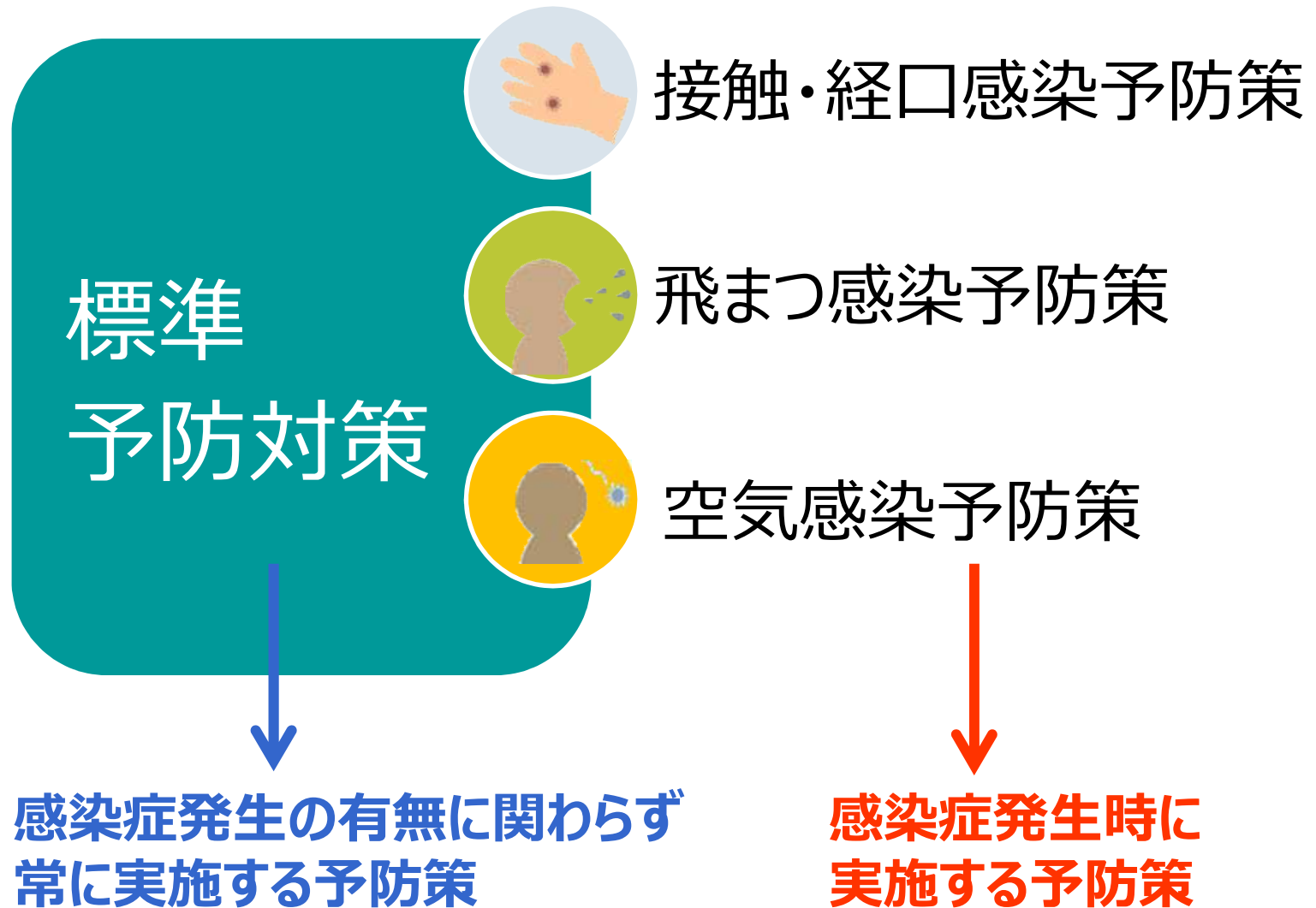


空気感染（飛まつ核感染）

空気中に浮遊している病原体（飛まつ核）を吸い込むこと

例：麻しん・結核・水ぼうそう

標準予防対策が基本



実際の標準予防対策

手
洗
い



- 感染源の処理をした後
- 手袋をはずした後
- 他の利用者に接する前

手
袋



- 感染源の処理をする前
- 感染源が付着しやすいもの（衣服、タオル類、リネン類、土など）やその周辺（トイレなど）に接触する前

マ
ス
ク



- 感染源の処理をする前
- 感染源が付着しやすいもの（衣服、タオル類、リネン類、土など）やその周辺（トイレなど）に接触する前

感染源 って、なに？

細菌やウイルスが生息しやすいもの



感染経路別の予防対策

感染経路	予防対策	主な病気
接触感染 経口感染	<ul style="list-style-type: none">➤ 手洗い➤ 手袋着用➤ ガウン着用➤ 複数の人が触れる場所の消毒	<ul style="list-style-type: none">• ノロウイルス• 病原性大腸菌• 流行性角結膜炎• 疥癬• 水いぼ
飛まつ感染	<ul style="list-style-type: none">➤ マスク着用➤ うがいの励行	<ul style="list-style-type: none">• インフルエンザ• 風しん• りんご病
空気感染	<ul style="list-style-type: none">➤ 高機能マスク (N95等) 着用➤ 十分な換気	<ul style="list-style-type: none">• はしか• 結核• 水ぼうそう

施設内で流行りやすい感染症

冬に流行する代表的な感染症

【消化器系感染症】



感染性胃腸炎
(ノロウイルス、ロタウイルスなど)

【呼吸器系感染症】

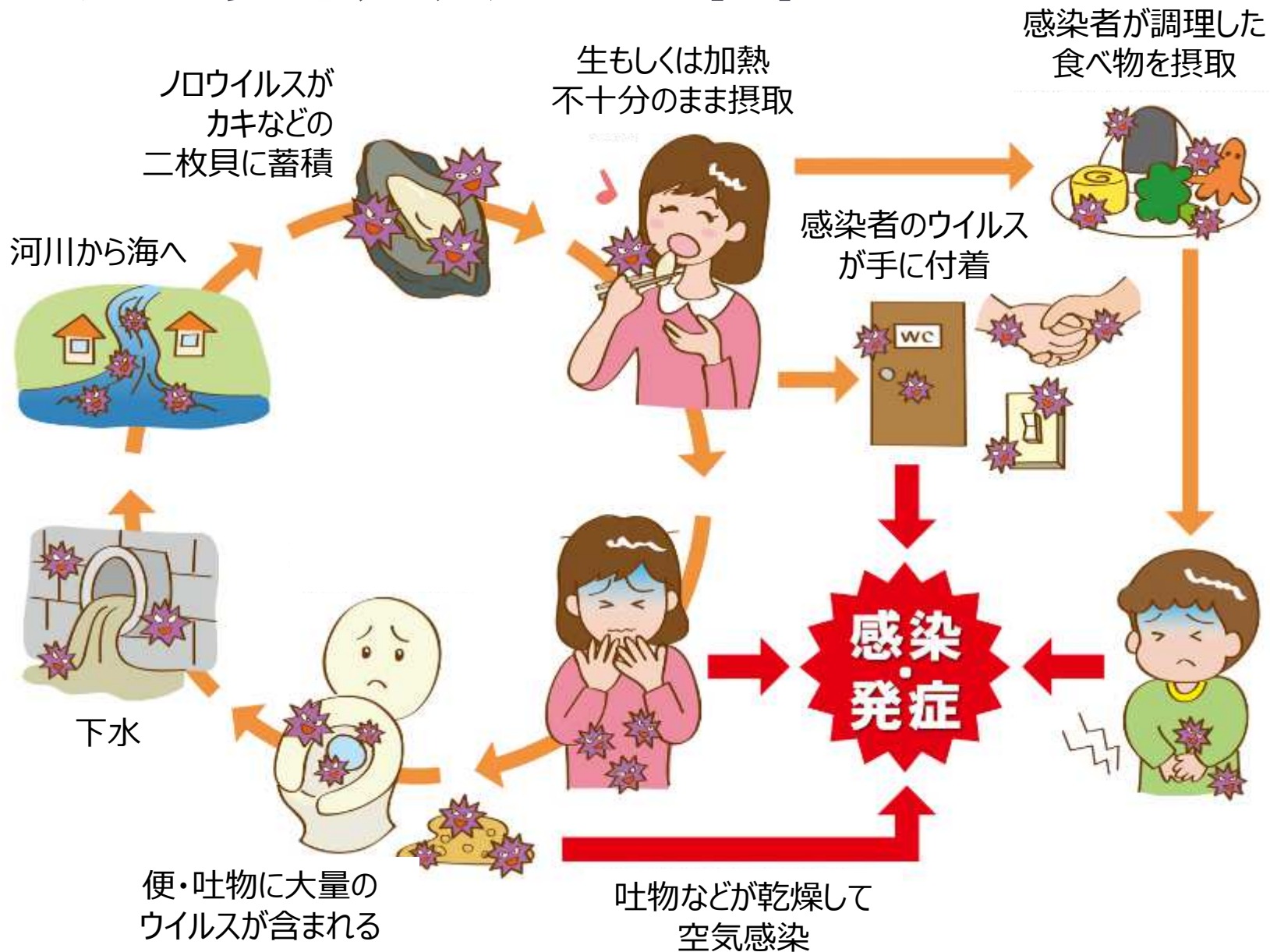


風邪症候群
インフルエンザ

ノロウイルス

ノロウイルスの特徴	
流行期	11～3月 特に冬場に多い
感染経路	経口感染（食品媒介）、接触感染、飛まつ感染 ※ 患者の嘔吐物を介して空気感染することも。
症状	吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱
診断方法	症状、ノロウイルスの証明
経過	感染後、24～48時間で、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱などの症状が出現。 通常は3日程度で回復。
潜伏期間	1～2日（12～48時間）
治療	対処療法（水分補給、整腸剤の内服）
ウイルス排泄	1週間～1ヶ月、ウイルスが便中に排出される

ノロウイルスの感染経路



ノロウイルスの消毒

熱

- 熱に強い特性があるため、**85°C以上**で1分以上の加熱が必要

次亜塩素酸ナトリウム

- 次亜塩素酸ナトリウム（**塩素系**漂白剤）での消毒
 - 感染者が直接接触した物・場所の消毒・・・0.02%
 - 感染者の嘔吐物や便が触れた物・場所の消毒・・・0.1%

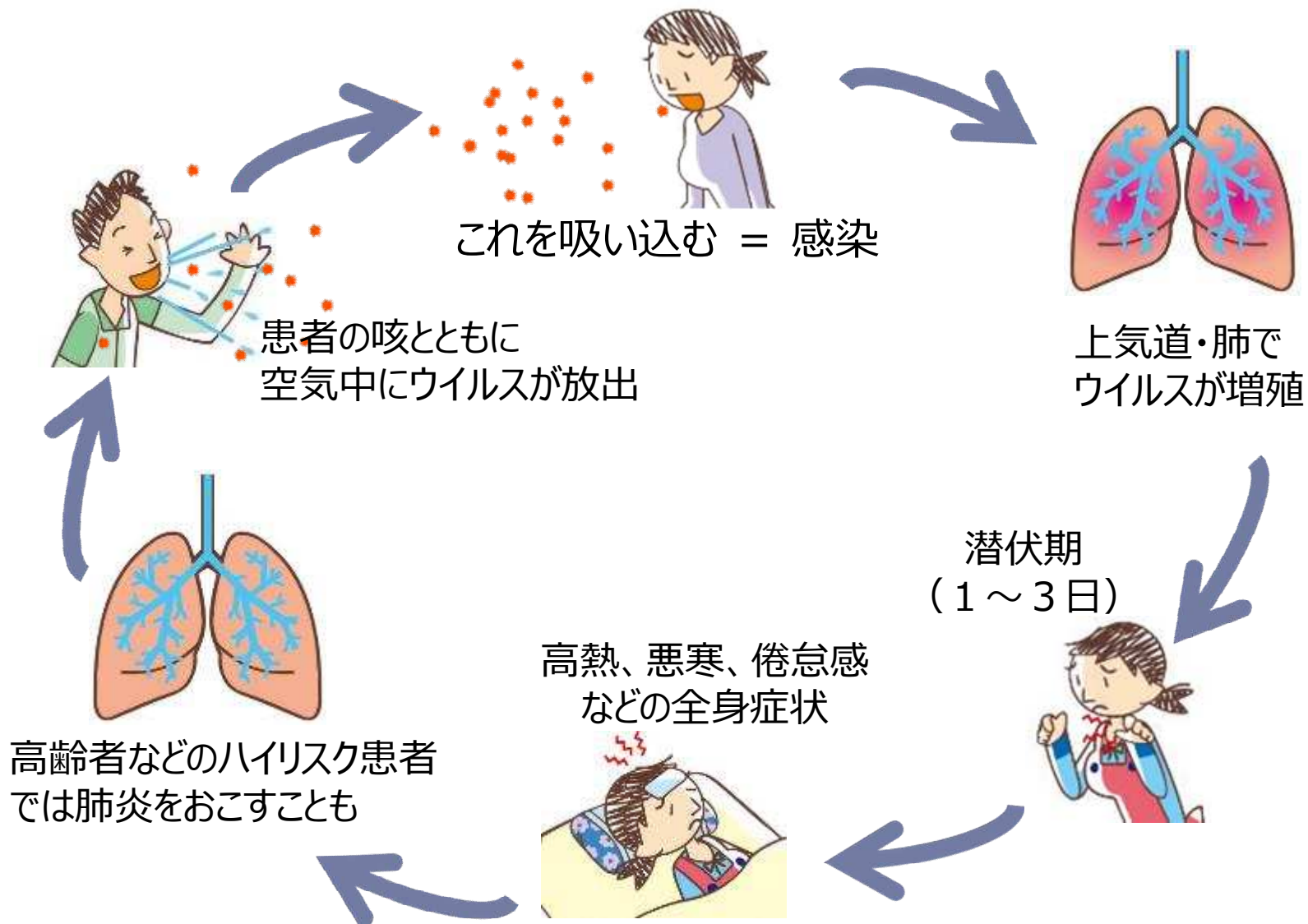
インフルエンザ

インフルエンザウイルスの特徴	
流行期	例年12～3月 ピークは1月末～2月上旬
感染経路	飛まつ感染が主体 ※感染範囲は患者の1～2m
症状	突然の発症、発熱（38度以上）、全身倦怠感
診断方法	症状、インフルエンザウイルス抗体、抗原の証明
経過	突然の発熱で始まり、高熱が3日程度続く 通常は1週間程度で軽快。
潜伏期間	1～5日（平均3日）
治療	対処療法、抗インフルエンザウイルス薬
ウイルス排泄	発症前日から発症後3～7日間、鼻や喉からウイルスが排出
予防接種	効果は、接種後2週間後～5ヶ月程度

風邪とインフルエンザのちがい

	インフルエンザ	風邪
主な症状	発熱、頭痛、 全身の倦怠感	咽頭痛、鼻汁 鼻閉感
熱型	38～40℃	微熱程度
頭痛 関節痛	強い	軽い
発症	急激	徐々

インフルエンザの感染経路



インフルエンザウイルスの消毒

熱

- 80°C以上で10分以上の加熱が必要

アルコール

- 70%以上の濃度のアルコールで消毒
- 布やペーパータオルに染み込ませて拭き、自然乾燥させる。
- 手指は、流水と石鹼で洗い流すことも有効。その後、アルコール消毒剤を使用しても良い

感染症の報告基準 と 報告方法

報告基準

- 同一の感染症による死亡者 又は 重篤患者 が 1週間に2名以上 発生
- 同一の感染症の患者が 10名以上 又は 全利用者の半数以上 発生

報告方法

以下の書類を作成し、疾病対策課までメール送付

- **患者調査一覧表** (ラインリスト)
- **集団感染対応チェックシート**

※相模原市HP>暮らし・手続き>健康・衛生・医療>
感染症>社会福祉施設向けの情報



つぎは、
汚物（嘔吐）処理の
詳しいお話です。



相模原市マスコットキャラクター

さがみん